

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日本製紙株式会社 大竹工場

(2) 事業所の所在地

広島県大竹市東栄二丁目1番18号

(3) 業種

1421 洋紙製造業
1422 板紙製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、令和 2 (2020) 年度を基準年度とし、令和 3 (2021) 年度から令和 7 (2025) 年度までの 5 年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))									
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	令和	年度	令和	年度
エネルギー 起源CO ₂			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量														
実績に対する 自己評価														

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産量 (t)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))						
		令和2年度	令和7年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
エネルギー 起源CO ₂	1.088	1.035	4.9	1.055	3.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素	0.2289	0.2177	4.9	0.2303	-1.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	1.317	1.253	4.9	1.285	2.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費 原単位 (原油換 算k1)	316.5	301.0	4.9	310.6	2.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	生産量及び非化石燃料の増加により、エネルギー起源CO ₂ の削減率は達成するも一酸化二窒素は増加となった。									

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	・総エネルギー原単位について前年度比1%改善	<ul style="list-style-type: none"> ・廃熱の有効利用 ・新エネルギーボイラーの効率的運転 ・発電所の効率的運転 ・操業改善による省エネルギー
2	電気使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプファンへの回転数見直し等による省エネルギー ・高効率設備導入による省エネルギー ・高効率照明設備導入による省エネルギー
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	資源の循環利用	廃棄物の再資源化率98%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・産廃有効利用促進（セメント原料化、焼却・熔融処理） ・廃プラ類の分別管理徹底
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。